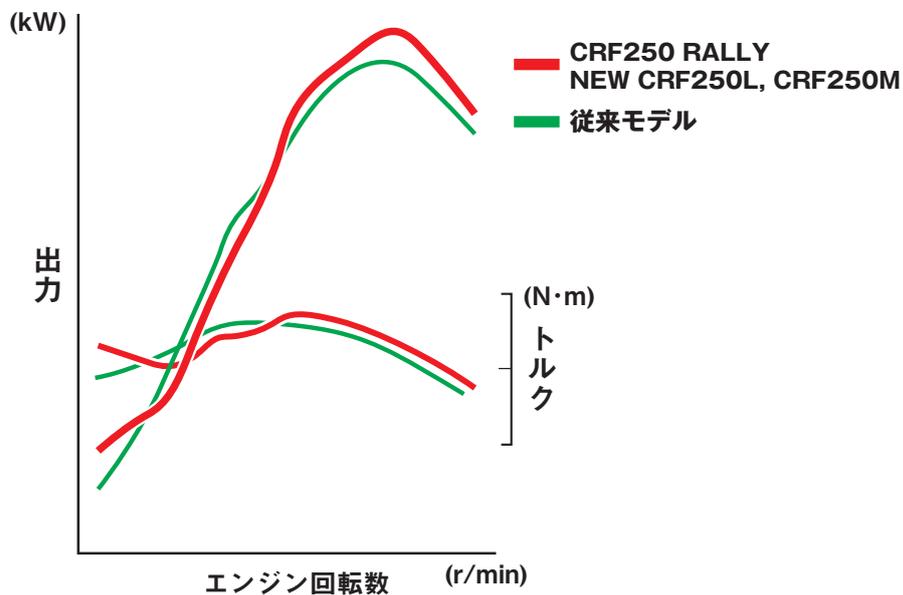


CRF250 RALLYのパワーユニットのねらいは

オンでもオフでも扱いやすく楽しい走りを実現する
出力特性と排出ガス規制対応の両立

CRF250 RALLYのエンジンは、ローラーロッカーアームやオフセットシリンダーなどの低フリクション技術を採用し、クラストップの燃費性能と幅広い使用シーンにおける扱いやすさで評判の高い、水冷・250cc・DOHC・単気筒エンジンをベースに、低回転域でのトルクを向上させ、走り出しの扱いやすさや中低速走行時の力強い走りを実現しました。また、高速回転域ではピーク出力の向上により、ツーリングなどの高速走行時にも余裕ある加速や追い越しが可能です。

■出力特性イメージ図



●吸気系 (CRF250L、CRF250Mと共通)

スロットルボディの口径をφ36mmからφ38mmへ大径化し、コネクティングチューブをベースに対し100mm長くすることで、力強い低速トルクと一気に吹け上がる高回転域出力を両立する扱いやすい特性としました。

■吸気システム図

